

避難情報を改めて確認

藤岡市では、避難情報について、昨年からの避難勧告を廃止し、避難指示に一本化した運用をしています。梅雨や台風などにより降水量が増えるこれからの時季に備えて、改めて確認しましょう。

警戒レベル		新たな避難情報など
5	 災害発生 又は切迫	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※Ⅰ
〜<警戒レベル4までに必ず避難！>〜		
4	 災害の おそれ高い	ひなんしじ 避難指示
3	 災害の おそれあり	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難 ※Ⅱ
2	 気象状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	 今後気象状況 悪化のおそれ	早期注意情報 (気象庁)

※Ⅰ 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではないなどの理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません

※Ⅱ 警戒レベル3は、高齢者など以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

**避難に時間のかかる
高齢者や障害のある人は、
警戒レベル3高齢者等避難で
危険な場所から避難
しましょう。**

**警戒レベル4避難指示で
危険な場所から全員避難
しましょう。**

**警戒レベル5は、
すでに安全な避難ができず
命が危険な状況です。
警戒レベル5緊急安全確保の
発令を待ってはいけません！**

台風19号の教訓を生かす

令和元年台風第19号(東日本台風)は、東日本一帯に大きな影響を及ぼし、藤岡市にも災害が発生しました。これを受け、藤岡市は藤岡市令和元年台風第19号災害検証委員会を設置し、災害対応の検証を行いました。

この検証結果をもとに、今後の災害に備え、藤岡市地域防災計画の修正や各種訓練などを実施し、本市のさらなる防災力向上を図ります。

= 改善策 =

情報収集・共有

災害対策本部への情報集約が課題でした。災害対応中や復旧段階に各班のリーダーが集まって情報共有する体制をつくりました。

職員の動員について

避難場所に女性職員がおらず、女性避難者が困る場面があったので、災害対応の男女比率を見直し、女性にも配慮した体制を構築しました。

職員による避難場所開設について

災害ごとに職員を指定していたため、迅速さに欠けていました。事前に開設職員を指定し、迅速に避難場所を開設します。

小中学校への分散備蓄

豪雨の中、市役所防災センターからの物資の搬送に人手と時間が割られました。避難場所などの運営をスムーズに行うため、避難場所に指定されている小中学校の空

き教室などを活用した分散備蓄を進めました。毛布やアルファ化米、新型コロナウイルス感染症対策に係る資機材、投光器などを分散備蓄し、防災力を強化しました。



災害時に必要となる物資や人材は多岐にわたり、市だけでは対応しきれない場面が想定されます。そこで、災害時応援協定を締結し、物資や人材の提供を受けることで、迅速に復旧復興できる体制の構築を目指しています。令和2年度には4件、令和3年4月に1件の締結を行いました。今後も、市だけでは手届かない分野について協定を締結し、更なる防災力強化を図ります。

締結時期	締結先	協定内容
令和2年度	八塩温泉旅館組合	水害時における一時避難場所の提供
	王子コンテナ(株) 高崎工場	災害時における段ボール製品の提供
	群馬司法書士会	災害時の様々な相談業務に対応するための司法書士派遣
	群馬日産自動車(株)	災害時における電気自動車の提供
令和3年4月	群馬トヨタグループ	災害時における電力供給可能な自動車の提供

災害時応援協定による防災力の強化



土砂災害は予測が難しく、避難情報を発令する前に災害が発生する可能性があります。多くの土砂災害警戒区域などを抱える上日野地区では、住民懇談会を行い、住民が主体となって避難の判断ができるよう、土砂災害からの避難について話し合い、災害時の避難行動についての計画を完成させました。完成した計画は、上日野地区の住民に配布され、今後の防災活動に役立てます。今後、各地域で同様の計画を作成していく予定です。

自主避難計画で命を守る

災害に備えて持ち出し品の準備を!

自分で使用するためのものは可能な限り自分で準備し、食料と飲料水は1週間分、最低でも3日分を用意してください。新型コロナウイルス感染症対策品を含めた右記のものは必ず準備しておきましょう。



- 主な持ち出し品
- 寝具(毛布など)
 - 食料、飲料水
 - スリッパ
 - マスク
 - アルコール消毒液(除菌シートなど)
 - 体温計